

元浜子ども神輿の復活

三十数年振りに町内巡行

(取り組み経緯)

令和7年10月13日(月・祝)元浜(八幡)神社の秋の祭りに、元浜子ども神輿の町内巡行が執り行われました。

元浜社会福祉連絡協議会には、昭和59年(1984年)に大源製薬(株)より寄贈された子ども神輿があります。当初はだんじり方式で子供たちが綱を引きながら町内を巡行していましたが、数年で活動が途切れ元浜神社で保管されて、今日まで活動が休止していました。

3年前に、各町会の子供会を一本化して、元浜連協子ども会を組織化しました。新たな子供会の活動の柱として、子ども神輿の復活の準備を進めてまいりました。夏祭りには会場の南会館に展示したいとして、町民の皆様にお披露目をして参りました。

長期間使用していないので車輪が重くて、大人5人でもやっと動かして、しかも直進から左右に方向転換が難しく、子供達には到底難しい状態でした。

そこで、今回の元浜子ども神輿は、土台と神輿を分離して、親子で担げるように修復しました。キャスター(車)を取替、土台を軽量化して、大人1人でも動かせる様に改修しました。

(元浜子ども神輿保存会の立上げ)

令和7年9月20日(土)午後2時より、元浜南会館に於いて、元浜町内のすべての団体・組織に協力要請をすすめて、元浜子ども神輿保存会の準備会を開催しました。

元浜神社をはじめ、元浜連協・連協子ども会・連協婦人部・民生児童委員協議会・元浜福寿会(老人会)・スポーツクラブ21西・消防浜分団の代表及び役員の方の出席のもと保存会の活動にご賛同いただき、保存会を立上げ暫定役員を選出しました。

元浜連協役員会で頂いたご意見に対して、暫定役員会で協議して、最低限やるべきことを確認しました。すべてが手探りで、だれもが経験していないことなので何が起きるかわからない重大事故・トラブルが発生すれば来年実施はできないことを確認して、安全巡行を最大の目標に進めました。

(予想を超えた町民の皆様からの期待)

この取り組みを進めていると「懐かしいね私の子どもたちが昔参加したよ」「子供の頃に引っ張ったな」などの声を頂き、また、南会館をご利用いただいている方など多くの町民の皆様から、協賛金(ご祝儀)を頂きました。会社関係からも協賛いただき、当初は赤字覚悟で計画してましたが、予想を超えた協賛金が集まりました。

元浜子ども神輿への期待の表れが実績もない保存会へのご祝儀を頂き、役員一同身の引き締まる思いと町民の皆様の期待を感じました。